

「いのち」の教育実践事例

☆南陽市立宮内小学校の実践

生命の継承の
大切さに
関する教育

— 未来を生きぬくたくましい鍾秀っ子の育成 —

宮内小学校では、生命の尊さを理解し、互いに尊敬、信頼、協力し合いながら、心身ともに健康な生活を築いていこうとする態度を養うための取組みを行っています。

○ ～大切な朝ごはん：暑い夏を乗り切るために～の実践

- 本校では、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」を育成するために、栄養教諭による食育を全学年で行っている。4学年では、朝ご飯を食べることのよさとして、頭、体、腸の3つのスイッチを入れるための大切な食事であることを学習した。また、3つの食品群と普段の午前中の自分の様子を併せて考えることで、自分に不足しがちな食品に気付き、暑い夏もしっかり朝ごはんを食べようとする意識を高めることができた。



今までは、緑のなかまが足りなかったな。野菜をもっと食べよう。

夏も、朝ごはんを毎日食べよう。

○ 災害時に生命を守る実効力のある避難訓練の実践

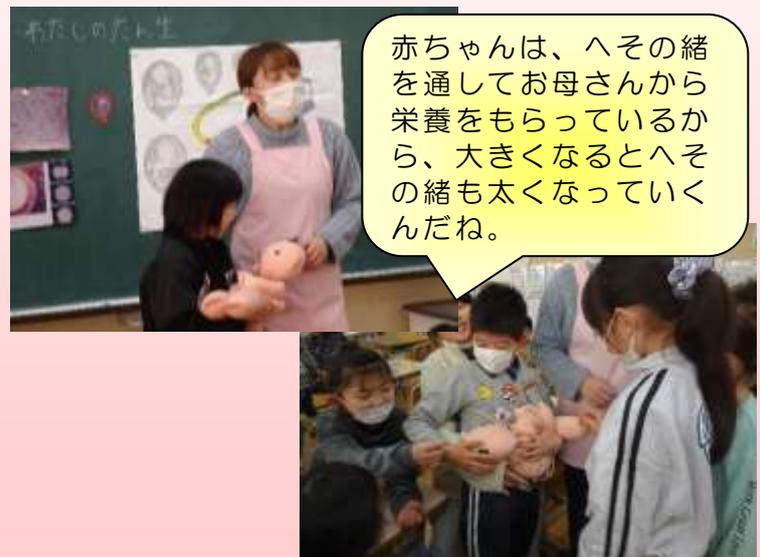
- 本校では、児童一人一人に危険から身を守ろうとする積極的な態度や意識をもたせ、自分で判断する力とともに、安全な行動をとる習慣を身に付けさせることをねらいとし、年間に予告あり、予告なしの避難訓練を計10回実施している。災害の発生場所を確認し、適切な避難経路を判断する力と上級生が近くにいる下級生を誘導する共助の意識が高まってきている。また、防火シャッターを下ろした避難訓練を実施したことで、急な事態にも慌てずに避難することができるようになった。



防火シャッターが閉まっていたら、防火戸を通して避難するんだね。

○ 性といのちの学習～ぼく、わたしのたん生～の実践

- 本校では、生命の尊さを理解し、互いに思いやる心と男女が尊敬、信頼、協力し合いながら、心身共に健康な生活を築いていこうとする態度を養うことをねらいとし、全学年で性といのちの学習を行っている。2学年の取組みでは、生まれてくるまでの間の胎児の成長の様子を見ていくことで、かけがいのないいのちが大切に育まれてきたことに気付き、いのちの大切さや家族への感謝の気持ちを高めることができた。



赤ちゃんは、へその緒を通してお母さんから栄養をもらっているから、大きくなるとへその緒も太くなっていくんだね。